学校番号	216

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書の歴史と文化を深く知り、個性を生かした作品制作(卒業制作)を行います。①漢字の書②仮名の書③漢字仮名交じりの書の中から２つ選び、作品を制作します。
・自己の作品のプレゼンテーションや作品展等のフィールドワークを通じて、表現力・企画力・発表力・鑑賞力を高めます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
（2）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（3）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に着け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書論・漢字の書	書論とは 漢字の書の多様性を楽しむ １．篆書 ２．隷書 ３．行書・草書 ４．楷書 ５．創作する 漢字の書作品を味わう	a:書の伝統を踏まえ、各書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身につけている。 b:漢字の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 c:主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 振り返りシート
	仮名の書	仮名の書の多様性を楽しむ １．平安時代中・後期 字体の違いを捉えよう ２．鎌倉時代以降 際立つ個性を楽しもう ３．創作する 仮名の書作品を味わう 古今和歌集を書こう	a:書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につけている。 b:仮名の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 振り返りシート
2学期	漢字かな交じりの書	・古典の書風を生かそう ２．創作 イメージを書で表現する	a:現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深めている。 技能：書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身につけている。 b:仮名の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 振り返りシート
3学期	生活の中の書	生活の中の書 ・年賀状 ・ペン字 ・金封、熨斗袋の表書き ・オリジナルポスター	・漢字の書、仮名の書で学習したことを目的や用途、意図に応じた効果的な技能、を身につけている。 ・生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度